

幸せとは？

父・花井春國が生前よく「幸せとは、夫婦仲睦まじく丈夫で長生き、己より知徳優れた子供に恵まれること」と言っておりました。誰の言葉かな？と思っておりましたら、※柏木庫治（かしわぎくらじ）先生のお言葉だということがわかりました。

『声の春夏秋冬』というCDの3巻「幸福の条件」というお話の中で、

1. 夫婦仲睦まじい。
2. 親より優れた子を授かる。
3. 長生きする。
4. 健康である。
5. 仕事に成功する。
6. お金持ちになる。
7. 朝から晩まで、見ること・聞くこと・話すこと、皆嬉しい。あるいは、口は人を喜ばすことを言うて通る。
8. 出直しを信じて安心立命する。

と、おっしゃってました。

ああそうだ、成る程と思うのですが、一つひとつを実行にうつし、8つの条件の一つでもと思うのですが、幸せの8つの条件を全て満たすには程遠いと感じます。だからまず一つ「夫婦仲睦まじく」なるため、夫婦は「丁度良い」とお互い思うところから始めてみてはいかがでしょうか？

〔教会長 花井基弘〕





国内外の各地から約12万人が降り集った教祖140年祭。四方の礼拝場をはじめ神苑一帯のハイブイす8500樹が、参拝者で埋め尽くされた

世界各地から12万人が参集

教祖140年祭



2020.2 発行/天理教出版社

教祖・中山みき様が現身をかくされた明治20年陰暦正月二十六日から、数えて140年。16回目の教祖年祭となる教祖140年祭は1月26日、奈良県天理市の天理教教会本部で厳かに執り行われた。

折からの強烈な寒波の影響で全国的に交通障害が発生し、各地で足止めを余儀なくされた帰参者も少なくなかったが、当日は、国内はもとよ

り世界各地から約12万人が帰参し、ご存命でお働きくださる教祖に三年千日と仕切った成人の歩みをご報告した。

おつとめの後、あいさつに立たれた真柱様は、参拝者一同に年祭活動に対するねぎらいの言葉をかけられたうえで、年祭を節目に心の向きをそろえて、3年間の努力のうえに立った歩みを続けることを求められた。

▲「グラフ天理」は天理教布教部ホームページよりダウンロードできます。<http://fukyo.tenrikyo.or.jp/>



【教祖140年祭学生おぢばがえり大会】

▶▶▶ テーマ

「みんなで勇んで、みんなでつくる、優しさと笑顔あふれる大会を」

▶▶▶ 期日 3月28日(土)

▶▶▶ 内容

大会式典、おつとめ(式典後)、直属アワー(おつとめ終了後)、別席、前夜祭3月27日

▶▶▶ 参加対象

高校生(新1年生を含む)・大学生・短期大学生専門学校生・大学院生など

※お申込み・お問い合わせは教会まで。

今後の主な行事

▶ 御本部月次祭バス団参

【日時】2月26日(木) 教会7:15 / 名駅8:00

【参加御供】3,500円

▶ 春季霊祭

【日時】3月1日(日) 10:00

【お話】滝川 義博(愛昭恵分教会長)

▶ 働くようぼくの集い

【日時】3月1日(日) 17:00

【場所】愛昭分教会拝殿

▶ 三月 月次祭

【日時】3月20日(金・祝) 10:00 執行

【外部講師】吉福 成人 先生(本部直属・濃飛分教会長)

▶ 天理教婦人会第108回総会バス団参

【日時】4月19日(日) 教会6:45 / 名駅7:30

【参加御供】3,500円

※マイクロバス2台

【発行】天理教愛昭分教会 【編集】Heart & Heart 編集部

〒464-0802 名古屋市千種区星が丘元町4番11号

愛昭分教会公式ホームページにてWeb版Heart & Heartを公開しています。 ホームページ ▶▶ <http://aisho.org> ▶▶

